

2004年6月30日
新神戸電機株式会社
株式会社日立製作所
日立マクセル株式会社

ハイブリッド電気自動車用などのリチウムイオン二次電池の合併会社 「日立ピークルエナジー」を設立

新神戸電機株式会社(執行役社長：白井 正信/コード番号：6934/以下、新神戸電機)、株式会社日立製作所(執行役社長：庄山 悦彦/コード番号：6501/以下、日立)および日立マクセル株式会社(執行役社長：赤井 紀男/コード番号：6810/以下、日立マクセル)の3社は、ハイブリッド電気自動車(以下、HEV)用などのリチウムイオン二次電池のマーケティングおよび開発・製造を目的とした合併会社、「日立ピークルエナジー株式会社(以下、新会社)」を設立し、本年7月1日より営業を開始することに合意し、このたび、合併契約を締結しました。

当初、新神戸電機と日立の2社による合併会社の設立を検討していましたが(本年3月26日発表済)、既にリチウムイオン二次電池を展開する日立マクセルの経験と実績が、合併会社の迅速な立ち上げには欠かせないとの判断から、日立マクセルも新会社の経営に参加することとなりました。

近年、地球環境保護や自動車の燃費向上を目的に、HEVや燃料電池自動車の開発、製品化が世界規模で進められています。エネルギー密度や出力密度の高いリチウムイオン二次電池は、HEVの電源として現在主に使用されているニッケル水素二次電池に比べて、小型・軽量化が可能であることから、車載用として注目されているほか、産業用としても大きな期待が寄せられています。

新会社の設立により、新神戸電機、日立および日立マクセルは、本格的な需要拡大に向けて、リチウムイオン二次電池事業において3社が持つ強みを、最大限に発揮することが可能となります。また、これまで以上に、マーケティングから開発・製造までを、効率的かつ迅速に行うことが可能となり、さらに開発リソースの集中による投資の効率化、開発スピードの加速を実現し、コスト競争力の強化および生産効率の向上など、事業の基盤体制の構築を目指します。

新会社の概要

会社名：日立ピークルエナジー株式会社

代表者：取締役社長 坂田 有三(現：新神戸電機株式会社 理事 埼玉工場技師長)

資本金：15億円(新神戸電機 43.7%、日立 36.7%、日立マクセル 19.6%)

営業開始日：2004年7月1日(予定)(2004年6月25日設立)

本社所在地：茨城県ひたちなか市稲田 1410 番地

事業内容：ハイブリッド電気自動車用などリチウムイオン二次電池のマーケティングおよび開発・製造

従業員数：約75名(2004年7月1日時点)

以上

このニュースリリースにおける将来予測に関する情報は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいています。このため、実際の結果と大きく異なったり、予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
